「継往開来」に寄せて

島　野　　健
（日立製作所）

日本光学会は創立70周年を迎え，年間テーマに「継往開来」（先人の事業を受け継ぎ，発展させながら未来を切り開く）を掲げた．筆者は本年に定年の節目を迎えることもあり，本稿では「先人」への感謝を表し，「未来を切り開く」皆様へのエールを送りたい．

光学との関わりは東工大の辻内順平研究室から始まった．本田捷夫先生や大山永昭先生にも厳しくご指導いただき，この世界で何かと重宝した「辻内研出身」の看板をいただいた．

入社した日立製作所中央研究所では角田義人氏の光ディスク研究ユニットで，有本昭氏指導の下，導波路光ヘッド研究に従事した．製品につながらず悶々とするも，当然のように日本光学会に入会し，文献抄録委員会では武田光夫先生や黒田和男先生からご指導いただくとともに，志村努先生や当時NECの片山龍一先生，東芝の本宮佳典氏の知己を得た．光ディスクがDVD, BDと進化する中，シミュレーター開発を担当し，ISOM, ODSなどの国際会議にも参加した．DVD/CD互換レンズや，当時旭光学の丸山晃一氏のご協力でBD単レンズ光学系も発表した．両学会ではチェアも経験し，片山先生や，当時三菱の篠田昌久先生には国際会議運営をご指導いただいた．

光ディスク開発の終息後は光学画像処理融合技術にシフトした．きっかけは日立の先輩の立野公男博士の指導で参加した光設計研究グループで，当時の槌田博文代表からいただいた同テーマの研究会企画だった．焦点深度拡大で講演された小松進一先生にはその後もご指導いただき，社内で研究テーマを立ち上げた．またその流れで事業部から紹介された海外論文を参考に，フレネルゾーンプレートを利用したレンズレスカメラを発想し，中村悠介氏らの協力を得て試作検証しプレス発表にもつながり，NHKの桑子アナウンサーにもニュースを読んでいただいた．

日本光学会ではその後理事を仰せつかり，OPJ2017および2018で正副実行委員長を担当した．ほぼ参加経験がなかった中，事業理事の的場修先生，プログラム委員長の小西毅先生，山本裕紹先生，代表理事の谷田純先生，伊藤雅英先生にご指導いただいた．2019年からは会計理事として，前任の山口進会長の財務基盤を踏襲し，遅々ながら諸懸案に取り組んでいる．

多くの先人のおかげで現在あることを思い起こし，感謝の念に堪えない．近年光学には，車載，医療バイオ，インフラ，メタバース，遠隔支援など期待が大きい．会員の皆様にも，先人の知恵や基盤を踏襲しつつ，世界に貢献する新しい研究開発を模索していただきたい．